

# 第52回日本生化学会北海道支部例会のお知らせ

日時：2015年7月17日（金）9:15～18:30

場所：北海道大学工学部 フロンティア応用科学研究棟・鈴木章ホール

※ タクシーの場合は正門からお入りください。自家用車でのお越しはお断りしております。

※ 最寄りの駅はJR札幌駅もしくは地下鉄南北線北12条駅または北18条駅となります。



**【交通案内】**  
**JRご利用の場合**  
 札幌駅下車、徒歩7分で「正門」到着  
**地下鉄南北線・東豊線ご利用の場合**  
 さっぽろ駅下車、徒歩10分で「正門」到着  
**地下鉄南北線ご利用の場合**  
 北12条駅下車、徒歩4分で「北13条門」到着  
 北18条駅下車、徒歩7分で「北18条門」到着

フロンティア応用科学研究棟

※ 学舎と建物の大きさは実際のものを省略している。  
 ※ ( ) は他機関の建物を示す。

## 発表について

1) 発表は全て電子プレゼンテーションとなります。必ず自身のノートパソコンをご持参ください。講演中は自身で操作を行っていただきます。液晶プロジェクターとパソコンとの接続は、D-sub15ピンとなります。一部のノートパソコンで、付属のコネクターが必要な場合がありますので、その場合はご持参ください。発表中はスクリーンセーバーや省電力モードにならないよう設定ください

2) ポスター発表のボードサイズは縦180 cm×横90 cmです。ボードに演題番号が貼ってありますので、午前中にご掲示ください。発表時間は13:20~14:20です。ポスターは15:00までに撤去してください。

## 懇親会

閉会后、北大生協北部食堂（北大構内・例会会場横）にて懇親会を行います。会費は一般2,000円、学生500円の予定です。当日参加の方は、受付までお知らせ下さい。

## 問い合わせ先

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
北海道大学大学院理学研究院化学部門構造化学研究室内  
日本生化学会北海道支部 第52回支部例会係

TEL: 011-706-3533

FAX: 011-706-4501

E-mail: [stchem-sec@sci.hokudai.ac.jp](mailto:stchem-sec@sci.hokudai.ac.jp)

# 第52回日本生化学会北海道支部例会 プログラム

日時：平成27年7月17日（金）9:15~18:30

場所：北海道大学工学部 フロンティア応用科学研究棟・鈴木章ホール

## 9:15~9:20 開会の辞

日本生化学会北海道支部第52回例会長

石森 浩一郎（北海道大学・大学院理学研究院・化学部門・構造化学研究室）

## 9:20~10:05 [一般講演 セッション1]

座長：鈴木 利治（北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学研究室）

### O-01

カエルモデルから明らかになったWntシグナル調節とがんにおけるRNF43の機能

○築山 忠維<sup>1</sup>、福井 彰雅<sup>2</sup>、寺井 小百合<sup>1</sup>、藤岡 容一郎<sup>3</sup>、品田 佳佐<sup>1</sup>、高橋 秀尚<sup>1</sup>、Terry P. Yamaguchi<sup>4</sup>、大場 雄介<sup>3</sup>、畠山 鎮次<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院医学研究科・医化学、<sup>2</sup>北海道大学・大学院生命科学院・組織構築、<sup>3</sup>北海道大学・大学院医学研究科・細胞生理、<sup>4</sup>CDBL, NCI-Frederick/NIH

### O-02

Negative regulation of Mda5-mediated antiviral response by ADP ribosylation factor-like 5B

○鍛代 悠一<sup>1</sup>、織 大祐<sup>2</sup>、竹内 理<sup>2</sup>、川崎 拓実<sup>3</sup>、末吉 拓也<sup>3</sup>、審良 静男<sup>4</sup>、松田 正<sup>1</sup>、河合 太郎<sup>3</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院薬学研究院・衛生化学、<sup>2</sup>京都大学・ウイルス研究所・感染防御、<sup>3</sup>奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科・分子免疫制御、<sup>4</sup>大阪大学・微生物病研究所・自然免疫

### O-03

リン脂質ホスファチジルセリンの欠損により細胞膜タンパク質が側方拡散できない領域が現れる

○三岡 哲生<sup>1,2</sup>、田中 一馬<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・遺伝子病制御研究所、<sup>2</sup>北海道大学・大学院生命科学院

## 10:05~10:50 [一般講演 セッション2]

座長：木村 和弘（北海道大学・大学院獣医学研究科・形態機能学講座）

### O-04

ユビキチンリガーゼTRIM23はPPAR $\gamma$ の安定化を介して脂肪細胞分化を制御する

○渡部 昌、高橋 秀尚、畠山 鎮次

北海道大学・大学院医学研究科・医化学

### O-05

神経損傷後に神経細胞体周囲に集積する活性化ミクログリアの機能

○田中 達英、村上 公一、野村 太一、板東 良雄、吉田 成孝

旭川医科大学・医学部・解剖・機能形態学

### O-06

細胞形態を可視化する新規蛍光プローブによる細胞分化のイメージング

○鎌田 瑠泉<sup>1</sup>、田野 史<sup>1</sup>、工藤 風樹<sup>1</sup>、中馬 吉郎<sup>2</sup>、難波 康祐<sup>3</sup>、谷野 圭持<sup>4</sup>、坂口 和靖<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院理学研究院・化学・生物化学、<sup>2</sup>新潟大学・理学部、<sup>3</sup>徳島大学・薬学部、  
<sup>4</sup>北海道大学・大学院理学研究院・化学・有機化学第二

10:50~11:00 休憩

---

11:00~11:10 [支部若手奨励賞授賞式]

11:10~12:10 [支部若手奨励賞受賞講演]

座長：石森 浩一郎（北海道大学・大学院理学研究院・化学部門・構造化学研究室）

Y-01

Med26はLittle elongation complexをリクルートすることでsmall nuclear RNA遺伝子の発現を制御する

○高橋 秀尚<sup>1</sup>、瀧川 一学<sup>3</sup>、渡部昌<sup>1</sup>、Delnur Anwar<sup>1</sup>、柴田 美音<sup>1</sup>、佐藤 チェリ<sup>2</sup>、佐藤 滋生<sup>2</sup>、Amol Ranjan<sup>2</sup>、Chris W. Seidel<sup>2</sup>、築山忠維<sup>1</sup>、林 正康<sup>4</sup>、大川 恭行<sup>4</sup>、Joan W. Conaway<sup>2</sup>、Ronald C. Conaway<sup>2</sup>、畠山 鎮次<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院医学研究科・生化学講座医化学分野、<sup>2</sup>Stowers Institute for Medical Research、<sup>3</sup>北海道大学・大学院情報科学研究科・情報理工学専攻・知識メディア、<sup>4</sup>九州大学・医学研究院・先端医療医学部門・エピジェネティクス分野

Y-02

γセクレターゼの基質切断解析による孤発性アルツハイマー病発症機構の解明

○羽田 沙緒里、鈴木 利治

北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学研究室

---

12:20~12:30 総会

議長：日本生化学会北海道支部長 田中 一馬（北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子間情報分野）

13:20~14:20 [ポスター発表]

14:20~15:35 [一般講演 セッション3]

座長：今川 敏明（北海道大学・大学院理学研究院・化学部門・生物化学研究室）

O-07

RNAPII-CTD Ser7のリン酸化は新生non-coding RNAのクロマチン結合を安定化させることでヘテロクロマチン構造の形成、維持を行う。

○梶谷 卓也<sup>1,2</sup>、加藤 太陽<sup>3</sup>、近重 祐次<sup>4</sup>、平岡 泰<sup>5</sup>、木村 宏<sup>6</sup>、大川 恭之<sup>7</sup>、Damien Hermand<sup>8</sup>、村上 洋太

<sup>1</sup>北海道大学・大学院理学研究院・化学、<sup>2</sup>京都大学・大学院医学研究科、<sup>3</sup>島根大学・大学院医学系研究科、<sup>4</sup>情報通信機構・未来ICT研究所、<sup>5</sup>大阪大学・大学院生命機能研究科、<sup>6</sup>東京工業大学。大学院生命理工学研究科、<sup>7</sup>九州大学・医学研究院、<sup>8</sup>ナミュール大学

O-08

JIP1bとKinesin-1結合制御の解明

○加藤 優実、千葉 杏子、野澤 啓輔、鈴木 利治

北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学

O-09

皮膚バリア形成に必須なアシルセラミドの合成に関与する遺伝子の同定

○中路 翔太<sup>1</sup>、大野 祐介<sup>1,2</sup>、神山 望<sup>2</sup>、木原 章雄<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院生命科学院・生化学、<sup>2</sup>北海道大学・大学院薬学研究院・生化学

O-10

木材腐朽菌の比較オミクス解析から針葉樹分解メカニズムにせまる

○堀 千明<sup>1</sup>、石田 卓也<sup>2</sup>、五十嵐 圭日子<sup>2</sup>、鮫島 正浩<sup>2</sup>、Jill Gaskel<sup>3</sup>、Dan Cullen<sup>3</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院農学研究院・樹木生物学、<sup>2</sup>東京大学・農学部・森林化学、<sup>3</sup>米国農務省・林産研究所（USDA-FPL）マディソン

O-11

フィトスフィンゴシンから奇数鎖脂肪酸への代謝経路の解析

○関 直哉<sup>1</sup>、小原 隆<sup>1</sup>、北村 拓也<sup>1</sup>、永沼 達郎<sup>1</sup>、木原 章雄<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院生命科学院・生化学、<sup>2</sup>北海道大学・大学院薬学研究院・生化学

15:35~15:45 休憩

---

15:45~16:55 [特別講演]

座長：畠山 鎮次（北海道大学・大学院医学研究科・生化学講座）

S-01

天然物の改変による新規プロテアソーム阻害剤の開発研究

市川 聡

北海道大学・大学院薬学研究院・創薬科学研究教育センター有機合成医薬学部門

座長：坂口 和靖（北海道大学・大学院理学研究院・化学部門・生物化学研究室）

S-02

生体分子イメージング法によるインビボ機能解析

小川 美香子

北海道大学・大学院薬学研究院・生体分析化学研究室

16:55~17:05 休憩

17:05~17:40 [特別講演]

座長：前仲 勝実（北海道大学・大学院薬学研究院・生体分子機能学研究室）

S-03

鳥インフルエンザウイルスの生態と病原性の分子基盤

迫田義博<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院獣医学研究科・微生物学教室、<sup>2</sup>国際連携研究教育局（GI-CoRE）

---

17:40~18:25 [特別総説講演]

座長：田中 一馬（北海道大学・遺伝子病制御研究所・分子間情報分野）

脊椎動物の排卵機構-メダカをモデル生物として解明されたこと-

高橋 孝行

北海道大学・大学院理学研究院・生物科学部門

---

18:25~18:30 閉会の辞

日本生化学会北海道支部第52回例会長

石森 浩一郎（北海道大学・大学院理学研究院・化学部門・構造化学研究室）

18:40~ 懇親会（北海道大学生協北部食堂）

13:20~14:20 [ポスター発表]

P-01

PPM1Dホスファターゼ阻害剤の急性前骨髄球性白血病細胞株HL-60分化に対する効果

○工藤 風樹<sup>1</sup>、鎌田 瑠泉<sup>1,2</sup>、吉村 文彦<sup>3</sup>、谷野 圭持<sup>3</sup>、坂口 和靖<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院総合化学院・生物化学、<sup>2</sup>北海道大学・大学院理学研究院・生物化学、<sup>3</sup>北海道大学・大学院理学研究院・有機化学第二

P-02

PRMT5によるメチル化カスケードを介した癌抑制タンパク質p53多量体形成制御

○中川 夏美<sup>1</sup>、和田 隼弥<sup>1</sup>、鎌田 瑠泉<sup>1,2</sup>、坂口 和靖<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院総合化学院・生物化学、<sup>2</sup>北海道大学・大学院理学研究院・化学

P-03

癌抑制タンパク質p53の転写調節を経時的に定量可能な新規シングルセル解析系の開発

○中山 絵美里<sup>1</sup>、今川 敏明<sup>1,2</sup>、鎌田 瑠泉<sup>1,2</sup>、坂口 和靖<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院総合化学院・生物化学、<sup>2</sup>北海道大学・大学院理学研究院・化学

P-04

APP代謝におけるAlcadein  $\alpha$  の役割

○川原 聡史<sup>1</sup>、後藤 直也<sup>1</sup>、山本 融<sup>2</sup>、鈴木 利治<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学、<sup>2</sup>香川大学・医学部・分子神経生物学

P-05

膜脂質組成の変化によるAPPとAlcadeinの膜内切断機構の解析

○胡 安琪、朴 懿、羽田 沙緒里、鈴木 利治

北海道大学・大学院薬学研究院・神経科学

P-06

The analysis of X11L open form which can modulate the metabolism of APP

○Zou Lu、中矢 正、鈴木 利治

北海道大学・大学院生命科学院・神経科学

P-07

コレラ菌鉄輸送タンパク質CyaYへのヘム結合によるヘム合成酵素の活性調節

○小林 則之<sup>1</sup>、宗田 壯一郎<sup>1</sup>、石森 浩一郎<sup>1,2</sup>、内田 毅<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院総合化学院、<sup>2</sup>北海道大学・大学院理学研究院・化学

P-08

BCR-ABL/STAP-2依存的造血系細胞増殖におけるCCR7の関与

○稲垣 拓也、岩上 昌史、鍛代 悠一、室本 竜太、今 重之、松田 正

北海道大学・大学院薬学研究院・衛生化学

P-09

麻疹ウイルスが宿主の免疫を不活性化する分子メカニズム解明

○永野 悠馬<sup>1</sup>、野間井 智<sup>1</sup>、市川 聡<sup>1</sup>、前仲 勝実<sup>1</sup>、柳 雄介<sup>2</sup>、尾瀬 農之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院薬学研究院、<sup>2</sup>九州大学・医学研究院

P-10

自然免疫受容体Mincleを標的にした新規免疫賦活剤の探索

○須知 佑介<sup>1</sup>、古川 敦<sup>1</sup>、山崎 晶<sup>2</sup>、前仲 勝実<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院薬学研究院・生体分子機能学、<sup>2</sup>九州大学・生体防御医学研究所・分子免疫学分野

P-11

単純ヘルペスウイルス侵入阻害糖ペプチドの最適化を目指した熱力学的相互作用解析およびX線結晶構造解析

○山田 友樹<sup>1</sup>、古川 敦<sup>1</sup>、柿田 浩輔<sup>1</sup>、坂本 二郎<sup>1</sup>、前田 直良<sup>1</sup>、逢坂 文那<sup>1</sup>、斉藤 貴士<sup>1</sup>、黒木 喜美子<sup>1</sup>、荒瀬 尚<sup>2</sup>、穴田 仁洋<sup>1</sup>、尾瀬 農之<sup>1</sup>、橋本 俊一<sup>1</sup>、前仲 勝実<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学・大学院薬学研究院、<sup>2</sup>大阪大学・微生物病研究所